

令和7年5月22日<第244号>

編集・発行 農林水産省東北農政局経営・事業支援部輸出促進課

★トピックス★

≪東北農政局よりお知らせ≫

- ・【お知らせ】大阪・関西万博で東北の農林水産物などを紹介します！（於：EXPO アリーナ「Matsuri」）

≪補助金等に関する情報共有≫

- ・【募集】海外サプライチェーン構築に向けた投資可能性調査支援事業に係る補助事業について<締切：5月30日>
- ・【募集】有機 JAS 認証・GAP 等認証取得支援事業について

≪商談会・展示会に関する情報共有≫

- ・【募集】「商社マッチング（東京）2025」について<締切：5月23日正午>
- ・【募集】海外バイヤー多数来日！！「三陸・常磐水産加工品輸出促進商談会」について<締切：5月30日>

≪セミナー・研修に関する情報共有≫

- ・【募集】食品関連企業の海外展開に関するセミナーについて<締切：6月11日>
- ・【募集】食品事業者向け「最新食品安全対策強化セミナー」について

≪その他輸出に関する情報共有≫

- ・【情報共有】米国の関税措置の影響を受ける事業者をサポート
- ・【情報共有】米国の関税措置に対する GFP 会員向け相談窓口のご案内

★発信者からの一言★

スーパーなどの店頭において、葉物野菜がお求めやすい価格になってきているようです！サラダやスープなど野菜たっぷりの料理にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

農林水産省では、野菜を食べようプロジェクトの一環として、お手頃野菜を毎週更新しています。ご参考にいただければ幸いです。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai/otokuyasai.html>



様が、その認証取得に係る費用や商談への参加費用等の経費の補助を受けることができます。

■公募期間：

5～11月の毎月公募予定

第1回：令和7年5月1日（木）から6月4日（水）まで(採択可否通知：6月下旬頃)

第2回：令和7年6月9日（月）から7月7日（月）まで(採択可否通知：7月下旬頃)

第3回：令和7年7月8日（火）から8月6日（水）まで(採択可否通知：8月下旬頃)

第4回：令和7年8月7日（木）から9月8日（月）まで(採択可否通知：9月下旬頃)

第5回：令和7年9月9日（火）から10月10日（金）まで(採択可否通知：10月下旬頃)

第6回：令和7年10月11日（土）から11月10日（月）まで(採択可否通知：11月下旬頃)

ただし、予算額の上限に達した場合、今年度の公募はその時点で終了(以降は行わない。)

■応募先：

株式会社マイファーム 有機 JAS 認証、GAP 認証取得等支援事務局

export-organic-gap★myfarm.co.jp（原則メールのみ受付）

(応募の際は「★」を「@」に変更ください。)

●詳細は以下事業 HP または実施要領をご確認ください(チラシ等も DL 頂けます。)

事業 WEB サイト URL：<https://myfarm.co.jp/export-organic-gap/>



【募集】商社マッチング（東京）2025 について<締切：5月23日正午>



ジェトロは、日本産農水産物・食品の輸出を希望する事業者様と、食品輸出に携わる国内商社との対面式の商談会を東京で開催します。

対面式の商談会では、バイヤーの方にその場でサンプルを試食・試飲いただくことや、パッケージを手にとっていただくことができ、リアルならではの効率的な商談が可能です。現地市場のニーズに精通した食品商社の担当者日本語で商談ができることから、これから本格的に輸出したい、新たな国・地域に販路を拡大したい事業者様にとっても参加しやすいプログラムとなっています。

【概要】

■会期：2025年7月30日（水）・31日（木） 各日10:00-16:00（予定）

■会場：ジェトロ本部5階 JETRO ホール

■実施形式：事前マッチングによる対面形式での商談会（30分程度/1商談）

■対象商品：日本産農水産物・食品全般

■参加商社：食品の海外輸出実績のある国内商社 16社

■対象者：国内商社を通じた日本産農水産物、食品、飲料の輸出に意欲のある全国の事業者様

■参加費：無料

※商談に伴う交通費、商談に使用するサンプルの準備など、本商談会の参加にあたって発生する諸費用につきましては、各事業者負担

■申込締切日：

STEP1: 商談会申込締切日 2025年5月23日(金) 12:00(正午)

STEP2: Japan Street への商品登録締切 2025年5月29日(木) 23:59

●プログラムの詳細及びお申込み方法は下記 URL よりご確認ください。

<https://www.jetro.go.jp/events/afb/d2742d81d9410527.html>

【お問い合わせ先】 -----

ジェトロ 農林水産食品部 事業推進課

担当：田野実、太田

TEL：03-3582-8356

E-mail：afb-shousha★jetro.go.jp

(お問い合わせの際は「★」を「@」に変更ください。)



【募集】海外バイヤー多数来日！！「三陸・常磐水産加工品輸出促進商談会」について<締切：5月30日>



JTBは、三陸・常磐6県(青森・岩手・宮城・福島・茨城・千葉)の水産業の本格的な復興に向けて、水産加工品の輸出促進に向けた海外バイヤーとの商談会を本年度も開催いたします。

4年目となる今回は、さらに多くの国・地域のバイヤーを招聘予定です。

ぜひこの機会に、新たな海外販路開拓に挑戦してみませんか。

(バイヤー対象国・地域：香港、台湾、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、ベトナム、インド、フランス、USA、オーストラリア、中東諸国、中南米諸国 など)

■お申込み・開催詳細はこちらの特設サイトから

<https://www.lapita.jp/jfa/fishery-products/top/>

■参加企業 募集受付期間：

・水産加工事業者(セラー)：5月8日(木)開始～5月30日(金)まで

・水産加工買付事業者(バイヤー)：5月14日(水)開始～5月30日(金)まで

■申込から商談会の流れ：

【ウェブ商談会】

1 香港・台湾・フィリピン・ベトナム・インド・USA・中東諸国：7月中旬～8月上旬

2 シンガポール・マレーシア・タイ・フランス・オーストラリア・ベトナム・中南米諸国：8月下旬～9月中旬

【リアル商談会 in 仙台】

・10月27日(月) 仙台ロイヤルパークホテルにて開催

※10月28日(火)～該当6県の産地視察を実施

【海外バイヤー試食会】

・3か国で開催予定：11月下旬～12月中旬

【その他】

・アフターフォローWEB 商談、Alibaba.com への無料出展

■対象者：

・青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県に水産加工施設が所在する水産加工事業者  
※国内商社、輸出組合、協議会等の輸出パートナーがある場合、申し込みフォームの中でパートナー情報を記入頂く箇所がございます。

お申し込みは、水産加工事業者様よりお願いいたします。

■対象品目：

水産加工品（6 県内の水産加工施設で最終加工された商品）

●お申込み・開催詳細はこちらの特設サイトから

<https://www.lapita.jp/jfa/fishery-products/top/>

※Ctrl+F5 を押して、再読み込み頂くと最新のページが画面に移行します。

※商談会全体の流れもこちらからご覧ください。

<https://www.lapita.jp/jfa/fishery-products/seller/meeting.html>

【問い合わせ先】 -----

三陸・常磐水産加工品輸出促進商談会 事務局 [(株) JTB 内]

担当者：岡崎、佐々木、富田、北條

TEL: 03-5539-2929 (平日 10:00~17:00)

E-MAIL: [yushutsu\\_suisan@jtb.com](mailto:yushutsu_suisan@jtb.com)



【募集】食品関連企業の海外展開に関するセミナーについて<締切：6月11日>



グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会は、食品関連企業を対象として、海外現地のビジネス投資環境等の海外展開に関するセミナーを開催します。本セミナーでは、専門家の方々を講師にお招きして、今後のビジネス展開先として有望と考えられる複数の国の現地情報を紹介していただくとともに、食品企業の海外展開をとりまく施策の状況をご説明します。

《開催概要》

■日時：令和7年6月12日（木） 14時から17時まで

■形式：ハイブリッド形式

(対面での参加を想定しておりますが、簡易的にオンラインでも配信予定です。)

■場 所：東京国際フォーラム G701 会議室

(東京都千代田区丸の内3丁目5番1号7階)

■申込締切：令和7年6月11日（水）17時00分

●お申込み先及び詳細は下記 URL よりご確認ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu\\_kokusai\\_chiiki/250513.html](https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai_chiiki/250513.html)



た。

また、本チームにおいて、米国の関税措置の概要、米国の関税措置の影響を受ける事業者へのサポートについてまとめたパンフレットを作成しておりますので是非ご活用いただけますと幸いです。詳しくは以下 URL をご確認ください。

【農林水産省 HP】

農林水産物・食品分野に係る米国の関税措置対策チームについて：

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/250408.html>

米国の関税措置の影響を受ける事業者向けパンフレットについて：

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/attach/pdf/250408-6.pdf>



【情報共有】米国の関税措置に対する GFP 会員向け相談窓口のご案内



GFP は、米国の関税措置により影響を受けたもしくは影響を受ける懸念のある GFP 会員に対して事業者のニーズに応じたサポート、新たな販路開拓などに役立つセミナー紹介のほか、商社とのマッチングなど新たな商談のサポートを行っていくため、相談窓口を設置しました。米国関税措置に関する相談窓口は、下記 URL です。

<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1746173723LcCosJGX>

お気軽にお問い合わせください。

\*\*\*\*\*

GFP へ参加しませんか

\*\*\*\*\*

GFP とは…

Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Project の略称であり、農林水産省が推進する日本の農林水産物の輸出プロジェクトです。

○GFP に登録すると 6 つのサービスを利用できます。

輸出診断・訪問診断、会員向けコンテンツ、商品リクエスト、グローバル産地づくり推進事業、交流会・セミナーの開催、情報発信

HP：<http://www.gfp1.maff.go.jp/>

GFP\_Facebook：<https://www.facebook.com/maff.gfp/>



農林水産物等輸出相談窓口・問合せ先



東北農政局では、東北地域の農林漁業者等からの農林水産物等の輸出に関する相談を受け付けて

おります。

相談窓口：東北農政局経営・事業支援部輸出促進課

住 所：仙台市青葉区本町3丁目3番1号（仙台合同庁舎A棟）

電 話：022-221-6402

H P：<https://www.maff.go.jp/tohoku/index.html>

<農産物・食品等の輸出関連情報>

<https://www.maff.go.jp/tohoku/kihon/yusyutu/index.html>

<農林水産物・食品の輸出に関する相談窓口>

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e\\_soudan/](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_soudan/)

☆メールマガジンの配信停止や、メールアドレスなどの会員情報の変更、パスワードの再発行は下記サイトで手続きをお願いいたします。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

☆東北農政局や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。配信を御希望される方は、御登録をお願いします。

<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>

